

これからの家具選び、どうする？

[www.elle.co.jp/decor/](http://www.elle.co.jp/decor/)

# ELLE DECOR

JAPAN  
no.169

エル・デコ  
APRIL 2021  
the world's  
leading  
design &  
lifestyle  
magazine

ローカル発!  
最旬デザイン案内

巨匠デザイナーの  
軌跡を知りたい!

個性派住宅の  
ディテール研究

スモールスペースで  
心地よく暮らす

UPDATE  
&  
REFRESH!

## これからの家具選び

  
Magazine Cloud  
電子版でも読めます

2016/  
400周年の有田焼を再生し  
世界へ押し出すプロジェクト

下 16組のデザイナーと商家、窯元を掛け合わせた2016/。上右 デザイナーらと共に窯元を訪問。上左 クーンカブートは釉薬を吹き付ける技術に感動し、技術からデザインを考察した。



Photo : KENTA HASEGAWA



KARIMOKU NEW STANDARD

愛され続ける家具の新たなスタンダード

木工所が集まる愛知県刈谷で生まれたカリモク家具が、2009年に立ち上げたブランド、カリモク・ニュー・スタンダード。「パノラマチェア」は木材を一部だけ曲げる技術が特に難しかった商品だとグレットリ氏は語る。



SUMIDA CONTEMPORARY  
墨田区の技術を生かす  
新たなプラットフォーム

東京都墨田区で300年以上続くものづくりのさまざまな技術を現代のアイテムに生かす取り組み。右、下 ジャスパー・モリソン氏と共にじょうろを開発。もともと美しかったフォルムがより洗練されたデザインに。



「が「やろう」と言ったことで実現し、展示に至りました」  
産地の技術に海外のデザイナーのアイデアが加わることで、二つの世界が交さり合い、新しいイノベーションが起きる。「墨田区の技術を活用したスマダコンテンポラリー」というプロジェクトでは、ジャスパー・モリソンやチャーン・ウンモらベテランデザイナーを起用しました。彼らはコンテンツをよく理解してくれ、経験と考案がデザインの中に入ってきていくのを感じました」  
また、多くの海外デザイナーと16のコレクションを開発したD&Dで、皆で窯元を巡る道中、窯元同士

が初めて互いの工房を訪れ、交流するのを目の当たりにし、プロジェクトが産地の人々の考え方を考える瞬間を目指したという。「こんなに近い距離で同じ有田焼を作っていたのに、初めて互いの窯に入ったと言うんです。単独で守り続けてきた技術を産地全体で復興させようという流れに変わるときがとてつもないです」  
各地の産地再生プロジェクトとして好例を発信しているグレットリ氏の次なるプロジェクトはミノソイルという美濃焼のインテリアアクセサリーブランド。スタジオムンバイを起用して、美濃の土の魅力を伝えるのだという。



David Glaetli  
ダヴィッド・グレットリ

1977年、チューリヒ生まれ。ローザンヌ美術大学 (ECAL) 卒業後、2008年に来日。2013年に独立。各地のブランドのクリエイティブディレクションやデザインコンサルティングなど幅広く手掛けている。  
davidglaetli.jp/

LOCAL DESIGN ITEMS

クリエイター×産地コラボに注目

今、産地の技術にデザイナーたちのクリエイティブ力が加わったプロジェクトが熱い。その活動の最前線にいる二人のクリエイターに話を聞いた。

産地とデザイナーの手助けをし、技術を再生  
昨年秋、多治見にあるタジミ・カスタム・タイルズを発見。マックス・ラム氏、イ・カンホ氏と協業し、展示を行った。100年以上継承されてきたタイル製造の技術を活用し、建築家やデザ

後継者不足や経済衰退により縮小していた産地の技術が近年ブランド化、世界的に活躍するデザイナーらと協業し、脚光を浴びている。そのブランド化の背景で重要な働きをしているのが、スイス出身のデザイナー、ダヴィッド・グレットリ氏だ。彼が担当するブランドは、産地の技術と世界的デザイナーらのクリエイティブ力が結びつき、新しい化学反応を見せている。

ダヴィッド・グレットリ

産地とデザイナーを結び  
世界に向けて魅力を発信

「ずっと同じやり方を続けてきた産地の人々が、プロジェクトを通していきなり考え方を変える瞬間がすごく面白い。タジミ・カスタム・タイルズでは、工場見学した次の日の朝、マックス・ラムがいきなり実現が難しいスケッチ案を持ってきたんです。誰もが難しいだろうと思いましたが、タジミ・カスタム・タイルズの社長

イナギーがオーダーメイドできるシステムを整えたブランドだ。2016年には、400周年を迎えた有田焼の、商家・窯元16社と立ち上げたブランド、D&Dに「デザイン・ディレクター」として参加。ミラノ・デザイン・ウィーク中に発表を行い、話題になったのも記憶に新しい。技術はあるが新たな一歩を踏み出すのが難しかった産地の技術の活路を見だし、デザイナーと結びつけている。



TAJIMI CUSTOM TILES

オリジナルタイルの製作を  
丁寧にサポート

テラーメイドの発想で建築家やデザイナーが求めるタイルを実現するタジミ・カスタム・タイルズ。上 マックス・ラム氏による試作の様子。左 昨年10月の展示風景。